



ボランティアバスケット

52号 平成 27年3月

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会 安佐南区ボランティアセンター

〒731-0194 広島市安佐南区中須1丁目38-13 (安佐南区総合福祉センター内)

TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013

E-mail asami@shakyohiroshima-city.or.jp



安佐南区災害ボランティアセンター開設

→復興連携センターへ そして 今!



被災地の子どもたちからのメッセージ

災害ボランティアセンター<<集合・受付・コールセンターの様子

平成26年8月20日未明の豪雨により、安佐南区の八木・緑井・山本地区等では、大規模な土砂崩れが起こり、大きな被害を受けました。

被災者の方々が一日も早く日常の生活を取り戻すことを願い、行政、NPO等関係諸団体で広島市災害ボランティア活動連絡調整会議が開かれ、広島市災害ボランティア本部を設置。8月22日に安佐南区災害ボランティアセンターが開設されました。家屋周辺や床下等の土砂撤去作業を地域の方々と協力しながら被災者の生活再建を願って述べ約3万人の方々(安佐南区での活動者)がボランティアとして活動に協力してくださいました。

発災後1か月を経過した10月には、被災者からのニーズの変化に応じて、復興連携センターへと転換し、生活支援の要望に応じるよう訪問活動や、日常生活に即した要望への個別対応、地域関係者・関係機関との連携に努めています。

これまで様々な活動に参加いただきましたボランティアの皆さま、スタッフとして運営に関わってくださった皆さま、地域の方々本当にありがとうございます。皆様の温かい心に支えられて今に至っています。これからもご協力のほどよろしくお願い致します。

広島土砂災害被災地支援 ボランティアの活躍

安佐南区での被災状況 (h26.12.26 現在)

人的被害：死者 68人 負傷者 54人

住宅被害：全壊 145 半壊・一部破壊 228

浸水：床上 796 床下 2,278

山崖崩れ：119

ボランティア要望数：1,087



住民の皆さんのお手製案内図





活動後の洗浄・うがいで感染予防

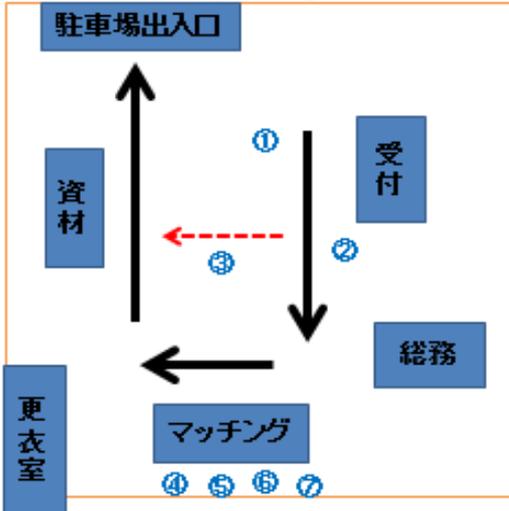


活動報告を伺っています



やさしい気持ちがいっぱい♡

ボランティア活動者受け入れの流れ



支佐南区ボランティアセンター内 簡易図

1. V活動者はセンター内で待機
 - ①6人〇列で整列
 - 待機中に資機材の貸出・提供
 2. 受付時間(8:30)受付開始
 - ②名簿・名札・V保険加入確認
 3. グループング
 - ③12人ごとにグループング
 - ④リーダー・サブリーダー選出
 - ⑤オリエンテーション
 - ⑥マッチング
 4. 車両
 - ⑦マイクロバスで順次送り出し
- 1 → 受付・資材班担当
 2 → 受付・資材班担当
 3 → マッチング班担当
 4 → 車両班担当



スタッフへの差し入れに
ほっと一息



データの入力作業をしています

災害ボランティアセンターから復興連携センターへ



県内外から参加した多くのボランティアさんによる被災者の生活再建のための土砂撤去や家屋の清掃活動等によって、大人数での土砂撤去作業から居宅内の清掃や家具移動といったニーズへと移行してきたことや、自立生活の再建へ向けた個別対応が求められるようになり、「復興連携センター」へと転換し、専門職や民生委員の方々のご協力をいただきながら被災者の皆さまが日常生活に移行するための生活支援、地域の復興に向けた取り組みを行っています。11月からはボランティアの受付方法を事前登録制とし、被災者からの要望に応じてボランティア調整をしています。



家の掃除・家具移動



壁の高圧洗浄



おそうじ隊初出動!



被災者に寄り添う訪問活動



減災グッズを地区社協へ



いきいきサロン訪問

ボランティアのみなさま♡ ご協力ありがとうございました

活動終了後に感想をいただきました



thank
you ♡

今日のボランティア活動を通して、たくさんの方とお話ししながら土砂撤去をすることができ、とても楽しかったです。

また、ボランティア活動を通して、社会に貢献することができ、本当に良かったです。また来年も被災者支援活動に参加し、少しでも役に立てればと思います。ありがとうございました。

被害状況を現場で見て、改めてこの度の災害の大きさを実感し、恐ろしさを感じました。時間がかかり経過しているにもかかわらず、まだまだ復旧すべきところがあることには驚きました。

日常生活を取り戻す為にもやることはあると思うので、機会があれば参加したいと思いました。

もっと早いタイミングで参加したかったですが、広島県民として少しでも役立てて良かったと思います。

初めてのボランティア活動でしたが、管理や段取りなど本部の方々がしっかりと行われているからこそ成り立っている事がわかりました。完全復興はまだ難しいと思いますが、町のひとは救われると思うので、今後も頑張ってください。

少しの作業にみえても、実際始めてみると、とても時間がかかることがわかりました。やはり、復興のためには多くの人の力が必要だと実感しました。

皆で力を合わせて元気な町にしましょう！



ボランティアさんへ感謝をこめて

支援に関わり感じたことは、「色々な形の支援がある」ということです。

ボランティアに関わるきっかけは様々ですが、災害が起こり共に作業をする時は、年齢も職業も所属も関係なく、想いをひとつに活動しています。

現地での作業やセンターの運営以外にも、出勤前に交通整理、仕事の合間に炊き出しやコーヒーサービス、子どもが学校の間支援物資の仕分けなど、限られた時間や環境の中で、色々な関わり方をされている方がいることを知りました。



毎日真剣にマッチング
作業をするWちゃん

また、遠くから広島に駆けつけたり、「現地には行けないけれど」とメッセージや物資、義援金・支援金を送ってくださる方も多く、本当に多くの方の支えがあつての活動でした。

土砂は減りましたが、生活の支援はまだ始まったばかりだと感じます。たくさんの方に応援していただいたことに感謝しながら、そのエネルギーを地域につなげていければと思います！

ありがとうございました



2/21 つなぐプロジェクト

◆◇8.20 土砂災害を忘れない！ いのり、つどい、かたり、つながろう◆◇
in 佐東公民館



豪雨災害から半年を迎えた8月21日にボランティアグループ、安佐南区復興連携センター、あさみなみ元気づけ隊、佐東公民館などが連帯して引き続き被災地域と被災者をサポートしようと開催された「つなぐプロジェクト」に安佐南区ボランティア連絡会は代表実行委員会を務めるなど全面的に参画しました。

ボランティア連絡会は、実行委員会会場、パンフレット作成、機材借用など準備・日運営にボランティアセンターの協力をいただき実行委員会の円滑な運営に協力しました。プログラムでは雨量計工作と模擬降雨による計測実験を担当し、雨についての知識や雨の計測方法、雨への備えなどミニ気象講座を、“運転ボランティアうさぎ会メンバーが中心となり企画しました。

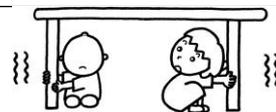
雨量計工作はペットボトル大小の二つを使いますが、真円のボトルが必要で、50セットを目標にボラ連皆様に収集提供をお願いしました。短期間で、炭酸系の1.5リットルのペットボトルを集めることは、冬時期には難しいことでしたが、目標以上のご協力をいただきました。

当日は、家族での参加が多くあり、のべ100名がブースにお立ち寄りいただき雨の話に耳を傾けてくださいました。45セットが工作と計測実験に使われました。雨がもたらした災害ですが、子どもたちが過度に雨を恐れず、雨に備えることに役立つことを願います。

準備運営には、あさみなみ元気づけ隊メンバーでもある広島経済大学興動館 東北支援プロジェクトの皆さんも協力くださいました。(報告：ボラ連メンバー 丸山)



2/17 子育てサークルで、“防災べんきょう会”



子育て・サークル応援グループ MaMa ぼっけでは、1月に防災についての取組を行っている大学生グループ HUG-YOUと一緒に、「子育て世代と大学生 みんなで話そう！これからの減災について」を行いました。その会に参加してくれた 緑井学区集会所で活動する子育てサークルグリーンキッズさんが、サークル活動時に大学生を招いて、“防災べんきょう会”を行いました。当日は、サークル OG ママや MaMa ぼっけメンバーが子どもたちの見守りで応援参加しました。



前半は大学生より東北支援活動や、防災についての豆知識などのお話、後半は親子で楽しめるワークショップとのことで、緊急時に活かせるビニールドレスと新聞スリッパを作りました。ドレスには、家族の名前、緊急時の家族の集合避難場所を書き、子ども達が喜ぶイラストを描きました。緊急時にも子ども達の不安が少しでも解消できる工夫について、知ることもできました。参加した皆さんから楽しかった！との声。今回のことがきっかけになって子育てママの視点からも含めみんなで情報交換したりしていきたいです。(報告：MaMa ぼっけメンバー坂本、グリーンキッズ小林)

ボランティア活動保険のご案内&更新のお願い



☆ボランティア保険

ボランティア活動保険は、ボランティア活動中の①本人のケガの補償②第三者の身体または財産に損害を与えた場合（相手にケガをさせたり相手のモノを壊してしまった等）の賠償責任を備えた保険です。安心して活動に取り組むために加入をお勧めします。尚、活動先への往復途上（通常の経路による）でのケガも補償されますので、原則、活動前の事前加入をお願いしています。

対象者：社会福祉協議会およびその構成員・会員、ならびに社会福祉協議会のボランティアセンターに登録されているボランティア、ボランティアグループの会員

対象となる活動：①グループの会則に則り企画、立案された活動であること
②社会福祉協議会に届け出た活動であること
③社会福祉協議会から委嘱された活動であること

加入方法：地元社会福祉協議会や、ボランティア活動を行っている社会福祉協議会で手続きをお願いします。

☆ボランティア活動保険の改定

*保険料の改定 ~ 天災タイプが引き下げになりました

基本タイプ：Aプラン 300円 Bプラン 450円

天災タイプ：Aプラン 430円（H26年比 -30円） Bプラン 650円（H26年比 -40円）

*補償内容の改定 ~ 後遺障害等級に応じた保険金支払い割合が改訂となりました

平成27年度ボランティア活動保険の更新

平成26年度にご加入いただきましたボランティア活動保険の補償期間は平成26年3月31日までです。加入をご希望の方は、平成27年度への更新手続きをおねがいします。

補償期間は平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで。

中途加入の場合は、加入手続き完了日の翌日午前0時から平成27年3月31日午後12時までとなります。

問い合わせ・申し込み 安佐南区社会福祉協議会へ

被災地での活動に求められるもの

自然災害等の被災地におけるボランティア活動は、通常のボランティア活動とは異なり、常に大きな危険が付きまといまふ。時として、ボランティアの行動や事故が被災地の方々他のボランティアの負担となることもあります。ボランティアの一人ひとりが自分の行動と安全に責任をもちまふ

●活動は組織的に！単独行動は厳禁！！

必ず現地災害ボランティアセンターに登録し、スタッフの指示のもと危険箇所や注意事項等情報をえながら組織的に活動まふ

●自分にできる活動！

無理な活動は、事故へと繋がりやすくかえって被災地の方々負担になりかねませんしっかり休憩を取り、自分にできる活動を心かけまふ

●参加しないという決断も必要

被災地での支援に参加する際は、事前に被災地の様子、ボランティアの募集状況を確認してください。また、被災地での活動は危険をとまふこと、重労働であることをご理解ください。場合によっては、参加を見合わせ、共同募金や、義捐金、ボランティア支援金の提供などで復興を支援するまふ

ボランティア活動は他人や地域に貢献する貴重な活動ですが、その一方で事故の発生は毎年増加傾向にありまふ。

充実したボランティア活動を継続的に行うためには、事故防止の取り組みが欠かせません。

安全ボランティア10大ポイント

- 1 転倒防止のため日頃から体力づくりに努めまふ。
- 2 足元の安全を確認する習慣をつけまふ。
- 3 自転車等の運転には細心の注意をはらいまふ。
- 4 活動当の体調を把握まふ。
- 5 活動内容に適した服装を心がけまふ。
- 6 準備運動で身体をほぐしてから活動まふ。
- 7 今の自分にできることか、見きわめながら活動を。
- 8 疲れを感じたら、必ず休憩まふ
- 9 不用意に犬に近づくのはやめまふ。
- 10 ヒヤリとしたこと、ハッとしたことまメンバー内で共有まふ。